



# 事例紹介（１）－医療、福祉業界

公益財団法人 地方経済総合研究所 特別研究員 **前田 和則**  
 熊本学園大学 非常勤講師（日本語科目）  
 専修学校 久留米ゼミナール 非常勤講師（キャリア教育科目・日本語科目）  
 修士（文学）・修士（大学アドミニストレーション）



外国人材受け入れに関してお困りごとがございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。  
 （ご支援例）外国人材の獲得の支援、外国人材の日本語教育支援、日本人社員向け異文化理解研修 等  
 公益財団法人 地方経済総合研究所（担当：前田）TEL：096-326-8625 / MAIL：info@reri.or.jp

## 1 はじめに

本号では外国人材を受け入れている事業所において、受け入れに際し配慮したこと、その経験を活かした皆様へのアドバイス等をご紹介します。

今回ご紹介するのは医療、福祉業界の事業所です。熊本県内における外国人労働者の受け入れを業種別で比較すると、医療、福祉業界は2018年度から2023年度までの事業所の増加率が2.97倍、外国人労働者数の増加率が6.60倍と、業種別での増加率が共に1位です。とりわけ介護職は、慢性的な人手不足という課題を以前から抱えており、外国人材の積極的な活用は労働環境の改善やサービス利用者の満足度向上に寄与すると思われます。

図表 1 業種別外国人労働者雇用事業所数、外国人労働者数（熊本県）

業種名	事業所数			外国人労働者数		
	2018年度 (社)	2023年度 (社)	増加率 (倍)	2018年度 (人)	2023年度 (人)	増加率 (倍)
農業、林業	885	1,165	1.32	2,966	4,616	1.56
建設業	248	464	1.87	890	1,667	1.87
製造業	399	488	1.22	2,878	5,398	1.88
卸売業、小売業	238	357	1.50	1,093	1,986	1.82
宿泊業、飲食サービス業	193	267	1.38	653	910	1.39
<b>医療、福祉</b>	<b>113</b>	<b>336</b>	<b>2.97</b>	<b>170</b>	<b>1,122</b>	<b>6.60</b>
サービス業（他に分類されないもの）	111	175	1.58	603	1,306	2.17
その他	251	326	1.30	902	1,221	1.35
合計	2,438	3,578	1.47	10,155	18,226	1.79

出典：熊本労働局「外国人雇用状況」の届出状況集計結果

## 2 外国人材の受け入れ事例

外国人材の受け入れが進む、医療、福祉業界の事例として、医療法人悠紀会（玉名市・病院、介護施設運営）の取組みをご紹介します。

悠紀会では、今年初めて外国人材の受け入れを開始しました。受け入れを決めたのは昨年8月で、入国の手続き等の準備を経て、今年7月末の入国、8月1日の採用が実現しました（図表2）。

図表2 悠紀会における外国人材受け入れ状況

人数・年齢	2人(23歳、22歳)
国籍	インドネシア
在留資格	特定技能(介護)
採用日	2024年8月1日

図表3 悠紀会 反後理事長(中央)と外国人材(両隣)



図表4 介護中の様子(右2人が外国人材)



### 3 受け入れ準備の中で配慮したこと、今後受け入れを検討している事業所へのアドバイス

悠紀会ではこれまで外国人材を受入れた経験がないため、文化や生活習慣が違う人と一緒に働く不安があるのではないか、日本語を教えながら介護の技術指導もできるのかといった不安の声があり、以下の点に留意しながら準備を進めました。

#### 【配慮したこと】

- 既に外国人材を受け入れている施設に、準備したことや配慮したことを教えてもらいながら、特定技能外国人受入プロジェクトチームを立ち上げ、準備を進めました。
- 熊本県が主催する「やさしい日本語」の講座を受講し、普段使う日本語を「やさしい日本語」に変換したり、掲示物にもふりがなをつけたりする等、読みやすくする配慮をしました。
- 日本人スタッフにも「やさしい日本語」を学ぶための勉強会を開催しました。受け入れ当初は方言を使わず「やさしい日本語」で業務の説明ができるようお願いしました。

#### 【アドバイス】

- 受け入れまでに約1年かかるため、早めに準備を開始すること。
- 「やさしい日本語」に言い換えができるよう、一緒に働く日本人スタッフが事前準備を進め、安心して働ける環境づくりが重要。

### 4 おわりに

本号では、8月に初めて外国人材を採用した事業所の取り組みとして、日本人スタッフ側でプロジェクトチームの立ち上げや、「やさしい日本語」の理解を深め、受け入れ体制を準備された事例を紹介しました。また、受け入れまでに約1年かかっていることから、外国人材の受け入れには時間に余裕を持って進める必要があります。次号では、熊本県内で働いている外国人目線で事例を紹介します。

※筆者監修  
「やさしい日本語の活用テキスト」(熊本県労働雇用創生課)  
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/62/159974.html>

